

第203回 友の会 池ノ谷地蔵尊から銀閣寺

～変成岩地帯を歩く～

日時 2022年4月24日(日)

場所 比叡平～池ノ谷地蔵尊

天候 雨

参加者 一般12名 指導員12名 計24名(内子ども2名)

前々日まで雨という天気予報でしたが、前日になって回復の様子で曇りとなりよかったと思っていたら、当日の朝一転して完全な雨となりました。急きょ集合場所で指導員で相談して①池ノ谷地蔵尊まで行き薬草園を見学して引き返す。②皇子が丘公園に行き先変更。③参加者に聞いて中止決行を決める。三案で採決をとり①案の池ノ谷地蔵まで行き薬草園を見学して引き返すということになりました。友の会の参加者に伝え大津京駅前発のバスに乗りました。



終点比叡平で見られるドイツトウヒ



集合場所の終点比叡平に到着、雨は降っていますが傘と雨カップで対応可能な範囲でした。早速、下見で見ておいたドイツトウヒを観察、下に幾つか落ちていた球果を拾い間近に観察が出来ました。ヒマラヤスギはこの観察会でも何度となく見ましたが、ドイツトウヒは初めてで、耳目をひくことが出来ました。そのすぐ横に4～5m程の常緑樹で葉の質が堅く全縁の丸い葉を持つ木があり、参加者に何だと思いませんかと質問しました。色々出の中で、一人の参加者が

葉の先あたりが尖って裂ける葉を見つけ、「ヒイラギ違う？」と言っていました。なかなか観察眼が鋭い。そうですヒイラギでした。下見時には指導員も騙された木です。5裂7裂して先が尖る模範的なヒイラギと違うのにみんなは驚いていました。

ヒイラギも大きくなると葉が丸くなるという発見をしました。

アイグロマツと思われるマツの雄花の花序の先にミニミニ松ぼっくりの形をした雌花が付いていました。枝の途中のところには、昨年の松ぼっくりが小指の先くらいの大きさで秋の成長を待っています。その下三年枝には完熟して種を飛ばした松ぼっくりがあり、松ぼっくりの成長過程が見られておもしろい観察が出来ました。

先に進むとずいぶんグミの木が多い場所で、薄黄色の花をつけたトウグミ、もう赤い実になったツルグミ、ナワシログ



ムラサキケマン

ミとツルグミの雑種かと思われるグミなどがやたらと出てきました。勿論熟したグミは口の中へ。甘い味に美味しいと言って笑顔になった子どもの顔が印象的でした。

地面にべったりと張り付いたキラソウ、空き地には栽培でもしているかのように一面の枯れたレモンエゴマ（枯れてもまだ香りがします）が広がります。レモンエゴマの草地の間にムクノキやエノキ、ケヤキなど大きな木が展葉前の小さな葉を輝かしていました。やっと山の雰囲気がましてきます。ウワミズザクラが白いブラシのような花を沢山つけています。もうウワミズザクラかと季節の進行の早さを感じました。

雨で花がかがやいて見えるコナラ、瑞々しい緑のウリハダカエデ、紅い苞葉が目立つアカシデ、早くも白い花を付けたコバノガマズミとにぎやかな春です。道の法面にアマチャヅルがあり、葉を噛ってみました始め甘くて後味苦い。表現も複雑な気持ちです。葉と同じ色なのでわかりにくいけど一輪の花が有りました。カクミノスノキです。

クロモジやヒノキの切り株を嗅いでいい気持ち、ニワトコの匂いで◎◎。チラシの写真に載っていたシライトソウはまだ咲いていません。替わりというわけではありませんがウラシマソウがわんさか林の中に見られ、この日の人気者になりました。シハイスミレの花があちこちに、チゴユリがぼろぼろと咲き始めていました。ヤマネコノメソウはもう終わってネコの目のような盃の中に種を作っていました。池ノ谷地蔵尊に到着。北海道や東北北部だけに生育するオオバナノエンレイソウはまだ白く大きな花を咲かせてくれていました。ここは薬草園で植えたものばかりですがニッケイ、ミヤマトウキ、ホンシャクナゲ、ギョウジャニンニク、エゾウコギなどなど。

一つ、訳のわからないものがありました。ヤブレガサに似ていますが花が違うし葉の切れ込みも少ない、花はハッカクレンに似るが葉が違う。あとで調べたところアメリカハッカクレンだそうです。思ったほど雨も降らず沢山観察が出来て、良い友の会になりました。帰りのバスに乗る頃、雨がきつくなってきました。LuckyBoy. LuckyGirlの集まりでした。(清)



釣り糸のように見えるウラシマソウ



白いブラシのような花のウワミズザクラ



ウリハダカエデの花



赤い苞葉が目立つアカシデ



コナラの花



オオバナノエンレイソウ



シライトソウ



チゴユリ



ヒトヨタケ sp.



ホウチャクソウ



ナミマイマイ



ヒノキの切り株～いい香り～

